

システムの提案の機会が増加 プログラムの需要も徐々に増加

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

システム業界を全体的にみると新しく立ち上がるシステム開発案件はあまり多くないものの、すでに動いているシステム開発プロジェクトについては継続・延長するケースが多くなってきました。特に3月に多かったプロジェクトの中止・延期が少なくなり、プロジェクトの継続可否を4～5月に検討し、最近延長を決定したというプロジェクトが多いようです。また4月頃に比べるとシステムの提案の機会が増えていることから、企業のシステム投資への関心が高まってきているようにも感じます。

現在、積極的にシステム投資を行っている所としては、インターネット関連や医薬関連業界、また一部の製造業があります。投資対象は顧客向け製品だけでなく、自社内の業務管理システムなども含まれます。また業界に特化したパッケージソフトウェアを販売している会社においても、積極的に製品開発を行いはじめるところもでてきました。システム投資が大きく盛り上がってきたというほどではないですが、景気の影響を比較的受けていたといわれる製造業でもシステム開発案件が出てきたということは、システム業界としては少し明るい材料ではないでしょうか。

【エンジニアについて】

一時期減っていたプログラムの需要が増えてきています。しかし、プログラミングもできるシステムエンジニア（SE）が市場に多く待機しているため、プログラムではなくシステムエンジニアが採用されやすい傾向にあります。また4月下旬ごろから増えてきていたシステムエンジニアの需要についても、引き続き堅調に推移しています。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp